

3代目ゴンドラ始動

20日にデビューする3代目ゴンドラ
(撮影・後藤亮平)



NEXTに
動画

きょうから六甲有馬ロープウェイ

六甲山頂と有馬温泉を結ぶ六甲有馬ロープウェイの3代目ゴンドラがデビューするのを前に、有馬温泉駅(神戸市北区有馬町)で19日、記念式典が催された。

展望シートを供えた赤と銀色の新ゴンドラは、20日午前9時半から運行する。六甲有馬ロープウェイは1970年に開業し、2代目ゴンドラは1993年に

導入。開業50周年に合わせて、更新を決めた。

新ゴンドラはスイス製で、色彩は六甲山の紅葉と、空中散歩のスリル感をイメージ。大きなガラス面により、眼下の自然をより雄大に感じられるという。同駅舎内も改修され、黒を基調としたシックなデザインになった。

式典には、久元喜造神戸市長や在大阪スイス名誉総領事らが出席。久元市長は「新しいロープウェイは有馬・六甲に観光客を呼び込む大きな契機になる」となどとあいさつし、試乗を楽しんだ。

運営する神戸すまいまちづくり公社の寺沢正敏プロモーションリーダー(41)は「今まで以上に景色を楽しめるようになったので、一度乗りってきてほしい」と話していた。(西竹唯太郎)